

令和元年度 第3回 神奈川県強度行動障害支援者 養成研修【基礎研修】 募集案内

令和元年度第3回神奈川県強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】
は、次により実施します。

- | | |
|------|-------------------------------------------------------|
| ・第3回 | 令和2年1月29日（水）～令和2年1月30日（木）2日間
定員：100名 会場：小田原合同庁舎 3階 |
|------|-------------------------------------------------------|

カリキュラム・申込方法など詳細については、以下、「令和元年度第3回神奈川県強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】実施要領」を御覧ください。

令和元年度第3回神奈川県強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】

実施要領

1 目的

行動障害を有する者のうち、いわゆる「強度行動障害」を有する者は、自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどにより、日常生活に困難が生じているため、現状では事業所での受入れが消極的であったり、身体拘束や行動制限などの虐待につながる可能性も懸念されるところです。

一方、障害特性の理解に基づく適切な支援を行うことにより、強度行動障害が低減し、安定した日常生活を送ることができることが知られています。

このため、強度行動障害を有する者に対して、適切な支援を行う職員の人材育成及び指導者の育成を目的とする強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を実施します。

2 実施主体

神奈川県

3 日程・会場・研修カリキュラム等

別紙「令和元年度第3回神奈川県強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】カリキュラム」
のとおり

4 定員

100名

5 受講対象者

次の（1）から（4）までの要件を全て満たす者

- （1）県内の障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業所・指定障害者支援施設、児童福祉法に基づく指定障害児通所支援事業所・指定障害児入所施設での業務に従事している者又は従事する予定のある者で、特に「知的障害」又は「精神障害」のある方への支援を行っている者

- (2) (1)のうち、知的障害、精神障害のある児者に対する支援の**実務経験が1年以上**ある者
- (3) 2日間すべての日程を受講できる者
- (4) 所属している法人の推薦を受けた者

6 受講者の推薦・申込み

(1) 推薦・申込みについて

- 別紙「令和元年度第3回神奈川県強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】受講推薦及び申込書」に必要事項を記載の上、「申込書類確認書」を添えて**法人でまとめて**申込み（送付）ください。
- 毎回申込み多数のため、**1法人4名**までの申込みとさせていただきます。
- なお、申込書の**法人内優先順位は必ず記載**してください。法人内優先順位が未記載の場合や不適切な記載の場合（法人内優先順位1位が複数いる等）については、受講を見送りとさせていただきます。

(2) 申込様式 別紙様式

※ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわ（URL：
<http://www.rakuraku.or.jp/shienhi/>）」の「書式ライブラリ」→「7.
研修会・説明会等のお知らせ（県内共通）」→「3 強度行動障害支援者
養成研修」に掲載します。

(3) 返信用封筒の同封（受講決定通知等の送付に使用）

- 定形郵便用封筒（**長形3号：A4版用紙三つ折りが入るサイズ**）を使用してください。
- 94円切手**を貼付してください。
- 返信用封筒の宛名は、法人名又は法人代表者としてください。（あて名は〇〇御中又は〇〇様としてください。）

(4) 申込方法 **郵送**

※ファクシミリ、電子メール及び電話による申込みは受けません。

(5) 申込期限 **令和元年12月9日（月）（当日必着）**

(6) 申込先 〒231-8588

横浜市中区日本大通1

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部 障害サービス課

施設指導グループ 切通

※お手数ですが、封筒表面余白に「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）申込書在中」と記載願います。

7 受講者の決定

- 申込みが定員を大幅に上回った場合は、推薦された方の中から、法人内優先順位を勘案し、申込みの内容を審査した上で決定します（先着順ではありません。）。
- なお、「行動援護従業者養成研修」及び「重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程」を修了していない方を優先して選考対象とします。
- 行動援護業務に従事している方や従事しようとする方は、「行動援護従業者養成研修」を受講していただきますようお願いいたします。

- 受講決定通知については、各法人あてにまとめて送付します。

8 修了証書の交付、修了者名簿の管理

- 本研修の全日程（2日間）を修了した方に、修了証書を交付します。
- 県は研修修了者名簿（修了証書番号、氏名、生年月日、所属等）を管理します。

9 受講料及び資料代

受講料は無料です。

ただし、受講に必要なテキストを研修会場で当日購入していただきます。

テキスト代は 3,300 円（税込） です。受講者負担とします。

※会場までの交通費その他についても、受講者負担とします。

10 その他

- 遅刻及び早退は欠席とみなします。修了証書を交付できませんので、御注意ください。通勤時間帯による混雑や天候等を考慮の上、余裕を持って御来場ください。
- 著しく受講態度が悪く（私語、居眠り、携帯電話の使用等）、繰り返し注意された方には修了証書を交付できませんので、御注意ください。
- 受講に当たり、手話通訳、点字教材等を必要とする方は、受講申込書の所定欄に記載してください。
- 来場の際は、公共交通機関を利用してください。

11 研修に関する問合せ先

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害サービス課	
〒231-8588	横浜市中区日本大通1
	電話 045（210）4724
	ファクシミリ 045（201）2051
施設指導グループ	切通

12 その他

令和元年度強度行動障害支援者養成研修【実践研修】実施予定

- | | |
|------|-------------------------------|
| ・第1回 | ※終了しました。 |
| | 令和元年9月19日（木）～令和元年9月20日（金） 2日間 |
| | 定員：100名 会場：平塚商工会議所 |
| ・第2回 | 令和2年2月26日（水）～令和2年2月27日（木） 2日間 |
| | 定員：100名 会場：平塚商工会議所 |
| | ※12月頃募集予定 |

令和元年度 第3回神奈川県強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】カリキュラム

開催日 令和2年1月29日（水）～30日（木）

会 場：小田原合同庁舎

日程	時間	講義名
1日目 1月29日 （水）	9:00～9:20	受付（チェックシート回収）
	9:20～9:30	開会・ガイダンス
	9:30～10:00	「プロローグ～行動障害のある人についての基本的な理解～」 強度行動障害とは（１）
	10:00～11:00	「私たちのことを知ってほしい～強度行動障害に関係する障害について～」 強度行動障害とは（２）
	11:00～11:10	休憩
	11:10～12:10	「ボク等の世界とのつながり方～環境を整える事の大切さ～」 構造化
	12:10～13:10	休憩
	13:10～14:10	「私たちが困っていること～感覚の違いを体験しよう～」 行動障害の背景にあるもの（１）
	14:10～15:10	「わかりにくいんです。～伝わりにくさを体験しよう～」 固有のコミュニケーション（１）
	15:10～15:20	休憩
	15:20～16:00	「みんなでやろうよ～チームプレイの大切さ～」 支援の基本的な枠組みと記録
	16:00～16:30	「お互いに共有しよう～記録と情報共有～」 情報収集とチームプレイの基礎（１）
	16:30～17:00	「支援の現場から～事例紹介～」 実践報告①
	17:00～17:05	事務連絡
日程	時間	講義名
2日目 1月30日 （木）	8:35～8:45	受付
	8:45～9:45	「医療と一緒に～医療と福祉の連携～」 強度行動障害と医療
	9:45～10:15	「支援の現場から～事例紹介～」 実践報告②
	10:15～10:25	休憩
	10:25～11:55	「本人にわかりやすい活動と環境～支援の手順書を使って～」 固有のコミュニケーション（２）
	11:55～12:55	休憩
	12:55～13:25	「知ることから始めよう～根拠を持って支援する～」 情報収集とチームプレイの基礎（２）
	13:25～14:55	「本当の理由を考えよう～冰山モデルで考える～」 行動障害の背景にあるもの（２）
	14:55～15:05	休憩
	15:05～15:55	「支える仕組み～制度理解のヒント～」 強度行動障害と制度
	15:55～16:25	「その時あなたは どうしますか ～虐待・身体拘束・行動制限の予防は支援の質の向上から～」 虐待防止と身体拘束
	16:25～16:30	チェックシート記入・回収
	16:30～16:40	休憩
	16:40～16:55	チェックシート解説
	16:55～17:05	修了証書授与・アンケート回収・閉会

神奈川県立中井やまゆり園

※カリキュラムの内容は一部変更になる可能性があります。

令和元年度第3回神奈川県強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】 申込書類確認書

※本紙も必ず同封してください。

法人名	
法人住所 (決定通知等送付先)	〒 ー
取りまとめ 担当者名	

* 決定通知等はまとめて上記住所に送付いたします。法人住所と異なる場所への送付を希望する場合は、上記「法人住所」に送付先を御記載ください（受講者ごとに異なる送付先とすることはできません。）。

【申込書類確認】 ※□に✓を記入してください。

- ☐ 申込書に法人代表者印を押しましたか。
- ☐ 法人から複数の受講者申込みをする場合、法人内優先順位を全員分記載しましたか。
- ☐ 申込書に記入漏れなく、全ての必要項目に記入しましたか。
- ☐ 受講申込者全員分の申込書が入っていますか。
- ☐ 返信用封筒（長形3号、94円切手の添付、住所・法人名の記載）が入っていますか。

【受講申込者一覧】全受講申込者を下の欄に記載ください。

（1法人4名まで）

優先 順位	受講者名	事業所名	サービス種別
1			
2			
3			
4			

【強度行動障害支援者養成研修受講状況】受講状況を下の欄に御記載ください。

	修了者数 (※1)	受講予定者数 (※2)	
		H30年度	R元年度
強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】			

※1 平成31年4月1日時点における修了者数

※2 令和元年度受講予定者数（見込）、不明な場合は、平成30年度と同数としてください。

令和元年度第3回神奈川県強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】 受講推薦及び申込書

次の者を受講者として推薦します。

令和元年 月 日

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害サービス課長 殿

法人等の名称

代表者職・氏名



＜受講対象者＞

法人内優先順位		←法人で複数人数を推薦する場合、 優先順位を必ず記載 してください。			
フリガナ					
受講者氏名					
生年月日		昭和・平成 年 月 日			
	法人名 又は市町村名				
	事業所名				
	事業所の サービス種類				
	事業所所在地	〒 -			
	連絡先 電話番号／ ファクシミリ番号	TEL		FAX	
実務経験年数と種別 (障害のある方の支援 に従事した期間) ※通算・重複可		年 か月 (平成31年4月1日時点)			
		知的障害		精神障害	
		※1年以上必要			
行動障害を有する方への 支援について (いずれかひとつに ○を付けてください。)	A：現在、支援を行っている。				
	B：まだ支援を行っていないが、予定はある。				
	C：今後も支援の予定はない。				
強度行動障害支援者養成研修【実践研修】の受講を希望する場合は、 ○を付けてください。					
受講に際して配慮 する必要のある事項 (○をつけてくださ い。)		車椅子の使用 の有無		介助犬の同伴の 有無	点字教材
		拡大文字資料		手話通訳者	要約筆記者
		身障者用駐車場		その他 ()	

【研修等の受講履歴チェックリスト】

研修等の受講履歴 (該当するもの○を付 けて、修了年度を記載 ください。)	行動援護従業者養成研修		修了年度 平成 年度
	重度訪問介護従業者養成 研修 行動援護支援課程		修了年度 平成 年度
	受 講 な し		

* 申込は法人で取りまとめの上、申込書類確認書を添えて御送付ください。

* 記載漏れや不備があった場合は、受講を見送りとさせていただきますので、御注意ください。

小田原合同庁舎 会場案内図

■住所

250-0042

小田原市荻窪 3 5 0 番地の 1

TEL.0465-32-8000 (代表)

■交通機関

- ・小田原駅東口2番乗り場より伊豆箱根バス 市立病院もしくは久野方面行き
小田原合同庁舎前下車
- ・小田原駅西口より徒歩15分



「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）」及び
「行動援護従業者養成研修」，「重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程」
に係る Q & A

（強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）と（実践研修））

問 1 「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」と「強度行動障害支援者養成研修（実践研修）」とは、どのような関係にあるのか。

（答）

- ア 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）は、強度行動障害を有する方への適切な支援を行う職員の人材育成を目的としています。標準カリキュラムとして、講義（6 時間）及び演習（6 時間）で構成されています（計 12 時間）。
- イ 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）は、強度行動障害を有する方への適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成を目的としています。標準カリキュラムとして、講義（4 時間）及び演習（8 時間）で構成されています（計 12 時間）。
- ウ 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の受講対象者は、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）の修了者及び重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程の修了者となります。

（強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）と重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程）

問 2 「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」と「重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程」とは、どのような関係にあるのか。

（答）

- ア 両研修は、同じカリキュラムであるため、重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程の修了者は、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を修了している取扱いとなります。また、逆も同様です。
- イ したがって、重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程の修了者は、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を受講する必要はありません。

(行動援護従業者養成研修と強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)及び(実践研修))

問3 「行動援護従業者養成研修」を修了しているが、「強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)」及び「強度行動障害支援者養成研修(実践研修)」を受講修了する必要があるか。

(答)

ア 必須ではありません。「行動援護従業者養成研修」は、「強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)」及び「強度行動障害支援者養成研修(実践研修)」と同じカリキュラムとなっているためです。

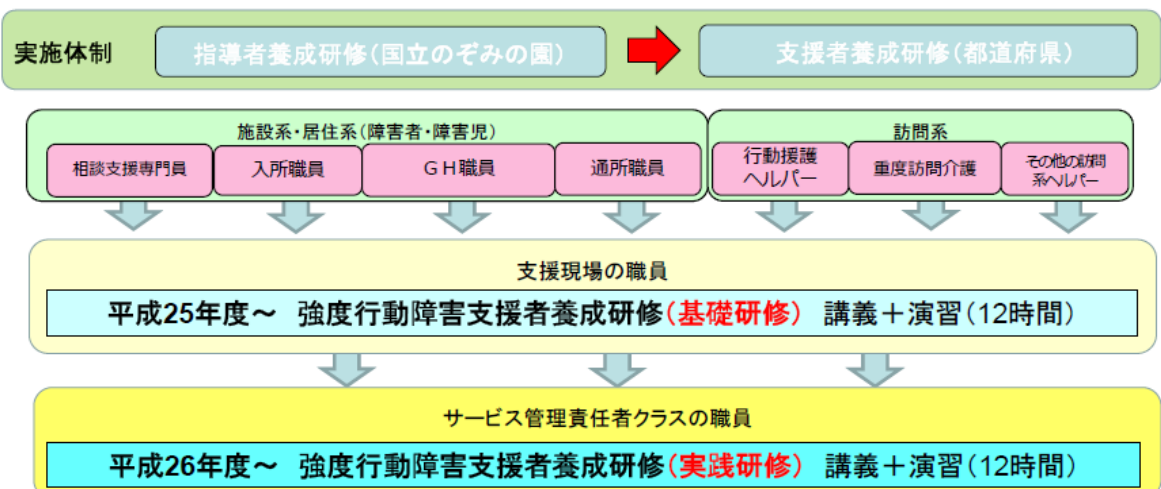
イ ただし、平成26年度以前に「行動援護従業者養成研修」を修了した者については、カリキュラムが見直されたことに伴い、改めて研修を受講する必要はありませんが、行動障害を有する者が重度訪問介護を利用するに当たっては、事前に行動援護従業者等によるアセスメントや環境調整を経る必要があることとされたことから、強度行動障害支援者養成研修(基礎研修及び実践研修)を受講することが望ましいとされています。

(平成27年3月6日厚生労働省障害保健福祉関係主管課長会議資料)

(参考) 強度行動障害を有する者等に対する支援者の人材育成について

強度行動障害を有する者は、自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどを特徴としており、このため、現状では事業所の受入が困難であったり、受入れ後の不適切な支援により、利用者に対する虐待につながる可能性も懸念されている。

一方で、施設等において適切な支援を行うことにより、他害行為などの危険を伴う行動の回数が減少するなどの支援の有効性も報告されており、強度行動障害に関する体系的な研修が必要とされている



(厚生労働省資料)